

REMASTER

成人向け
FOR ADULT

MAXIMUM



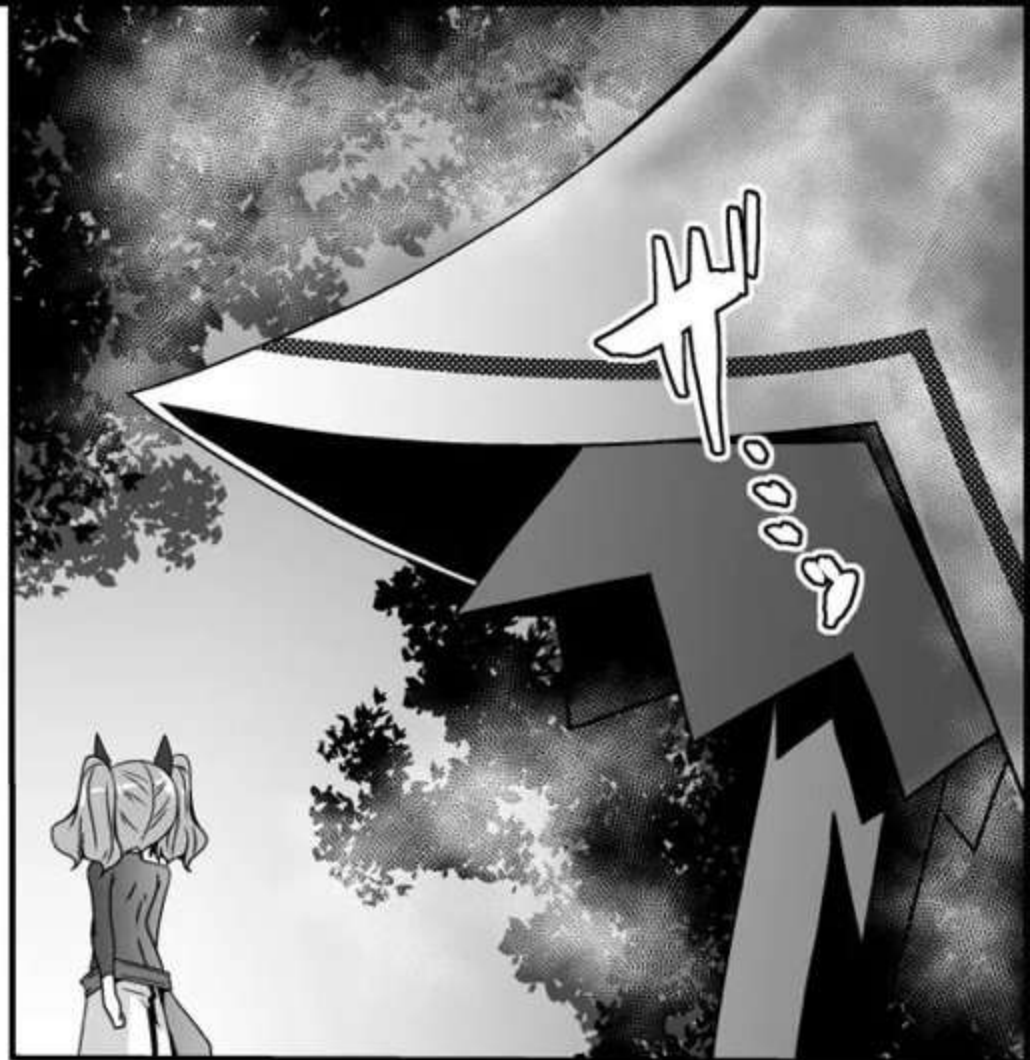


やれやれ
シウアンがあんなに
お酒に弱いとは…



後はウーファンに
任せて

私は少し散歩でもして
お酒抜こうかな



やっと…一人に
なってくれた…

あなたは確か…

タルシスの街に
居たウロビトの…

わ…私は…お前たち…
冒険者を…許さない…

わ：私の術と知恵が
必要だと言った：

冒険は楽しいと言った
お：お前たちを：
信用して：

ギルドに入った…
な…なのにお前達は
わ…私に…





私を…求めたのは…
戦力の為じゃ…ない
単なる…備品…

探索中の…慰み者
お前たちの…捌け口



ギルドって何を言っ…
私の所にミスティックは
居ないけど…



この子の所属って確か
帝国移民で構成された
ギルドだ…



この目…
私を見ていない…
この子にいったい
何が？



復讐する…

いたぶって…弄び
そして私を捨てた
お前たちに…



嘘っ
急に成長して…



まって…私…今何も装備を
持っていないっ
こ…これじゃ戦え…





やだ…あつ
乳首をツ

まっむ

まっむ

まっむ



引つ張らないでえ

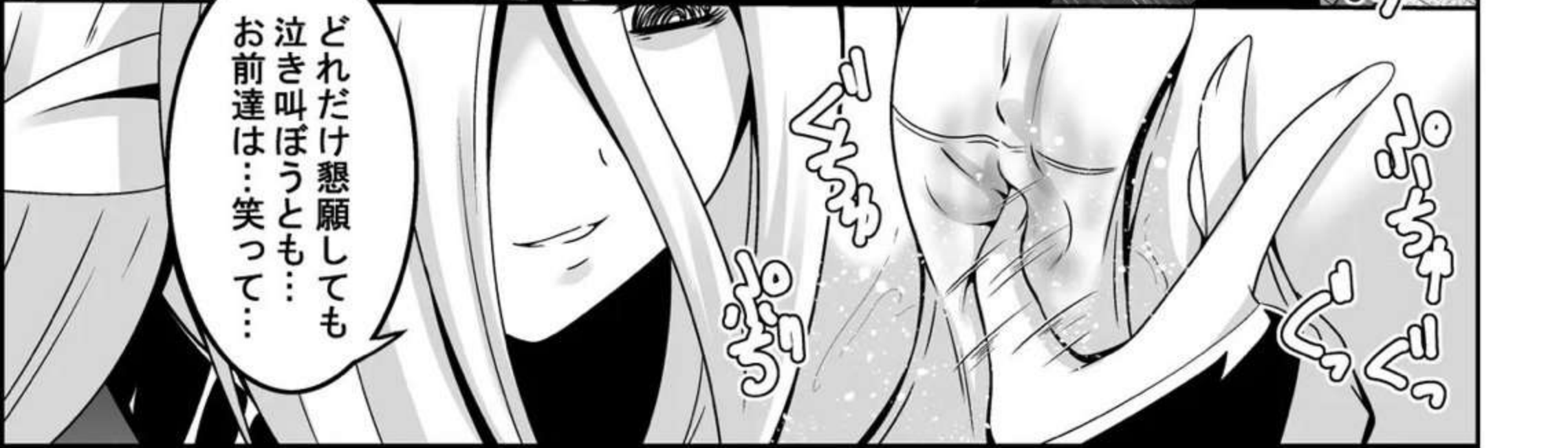
まっむ



お願い…私の…
話を聞いて…え



ひあ…ああつ
待って胸を…ねえ聞いて
私はあなたのギルドと
関係ないっ



どれだけ懇願しても
泣き叫ぼうとも…
お前達は…笑って…





ねえ：
コレがなにか分かるでしょ？



ほ……
砲剣？

お前達が…私…を
黽つてた時に使つてた
玩具…よ

この砲剣の機関部は
番獣の石甲で出来て
いるの

お前達に復讐するために
私も…頑張って素材を…
集めたのよ…何度も死に
そうになったけどね…

けどコレで犯され
続ける苦痛よりも
ずっと楽だった

私と…同じように…
あなたの大事な所を
決ってあげる…

まさかソレを
私に!?
う…嘘でしょッ

やめてッ
何でも話聞くからッ
貴方のギルドの事も
何とかするからッ

ムンムンッ
♡♡♡

アサルトドライブ



や...やめ...て
お...奥に突き
当たって...え

こ...壊れる...ッ
壊れて...お腹...
や...破れるッ

私…本職じゃないから
排熱とか効率悪いの
だから追加で触手を
お尻に入れてあげる

お…おしりい…嘘…
ぬ…抜いて…ぬいてえ

駄目だ…死んじやう…

ヒ…ヒールウォール
で…か…回復を…

ほ…砲剣だけで…
お腹の奥までいっぱい
なの…お願い…ツ
ぬ…ぬいてえ…ツ

お腹破れるツ
ほ…本当に破れ…
破れちやうよおツ

蠱惑の邪眼

苦しい？私の時は
もっと酷かったけど…
拘束され…4人に…
何度も打ち込まれた

何度も何度も何度も
何度も…気絶しても…
やめなかった…
死にかけたら…回復して
数日続く事もあった…

だから私は…自分の…
身体を…守るために…
新しい術を作った…

え…何？
こ…蠱惑…？

ショックドライブ



おやおお

ふふふ…凄い声…
私もこんな感じ
だったのね…

本当はもっと苦痛の
声を聞きたいけど…
長い時間闘る為に…
私と同じ術をかけたわ

シャープエッジ

あ…あれ？な…何…？
急に痛みが引いて…
どんどん身体が熱く…



シヨックドライブ

か：身体変だ：
普通なら死んでも
おかしくない激痛の
はずなのに：

一撃一撃が下腹の芯に響いて凄く気持ち良い波が全身に広がる……甘い快感が頭まで……登ってくる……

蠱惑の邪眼とか言う奴
の所為なの？
官能と痛みが混ざって
神経が混乱……？
だめ快感で思考が……

まってえ
 二れえ...
 ためえ...
 ぐや

思ったより反応が…
防御して…回復？

そうか…おまえ…
城塞騎士なのか…
一撃ごとに回復…
出来るんだな…

これなら…
思った以上に長い
時間…楽しめそう

追加でクリトリスと
尿道も責める…かな

ひきうツ
だ…駄目えツ

や…やだあ
そんなあ

む…無理…い
こんな…の

防御無理い

い…いく…
いつちやううツ

やだ…あツ
いきたくないツ
こんなので…
い…く…いくう
いくうううツ





アクセラドライブ

あ…が…あ…
か…回転…して

イ…く…う
イ…の止ま…ッ

し…しぬ…
しんじやう…

お…お腹の中…と…
蕩けて…るう
グチャグチャに…
混ざってイッてる…う

あは...ははは
イケ...イケイケ
イケイケイケッ

ショックドライブ

お、まじき
うわぁ

今日で四日だな…
そいつらで何十体目だ？
水と食事は与えている
が…



まだ意識があるのか…
ウロビトと違って…
さすがに丈夫だな
城塞騎士…

ふフフ…フフ…まあ…いい
次は人間とトモに暮らしてル
愚かな…ウーファンに罰ヲ
与えるカナ

ポウケンシヤの恐ろしさを
身体に刻んで里に戻るヨウに
言い聞かせル…

ヤツの泣き叫ぶ様ガ
今から楽しみダ
ソシテ…私が…ワ
ワタシガ里を守ル…

